

## 平成 21 年度 外国人リハビリテーション医交流報告

日本リハビリテーション医学会 国際委員会 委員長 志波 直人  
外国人交流担当 森原 徹, 池田 聡

平成 21 年度日本リハビリテーション医学会外国人リハビリテーション医交流助成による日本訪問が終了したので、下記の通り報告する。

名前：Marina A. Moeliono, MD (51 歳, 女性)  
所属：Department of Physical Medicine and Rehabilitation, Dr. Hasan Sadikin General Hospital-Faculty of Medicine, Padjadjaran University (パジャジャラン, インドネシア)  
期間：2009 年 8 月 29 日～9 月 6 日  
訪問先：群馬大学医学部附属病院リハビリテーション部, 群馬県立心臓血管センター  
東京大学リハビリテーション部, 国立身障者リハビリテーションセンター  
社会福祉法人 希望の家, 国際医療福祉大学リハビリテーション教室  
発表演題：Profile of Physical Medicine and Rehabilitation Department of Hasan Sadikin Hospital, Bandung, Indonesia

名前：Laprattanagul Tanaporn, MD (29 歳, 女性)  
所属：Rehabilitation Department, BNH Hospital, Bangkok, Thailand (バンコク, タイ)  
期間：2010 年 1 月 4 日～8 日  
訪問先：大阪医科大学附属病院リハビリテーション科, おおくまりリハビリテーション病院  
兵庫県立西播磨総合リハビリテーションセンター  
発表演題：Creatinine clearance level in paraplegic patients due to spinal cord lesion.

名前：Leighton Chan, MD (39 歳, 男性)  
所属：Department of Rehabilitation Medicine, NIH Clinical Center, USA (ニューヨーク, アメリカ)  
期間：2010 年 3 月 1 日～6 日  
訪問先：慶應義塾大学医学部リハビリテーション医学教室  
京都府立医科大学大学院医学研究科運動器機能再生外科学・リハビリテーション部  
発表演題：Pulmonary rehabilitation  
The geographic variation in the use of epidural steroids for low back pain in the US

外国人リハ医交流印象記はリハニュース 47 号 (2010 年 10 月 15 日) に掲載予定です。